

# 子どもサポート情報

## ボタン電池の誤飲に注意

### 事例①

息子がタイマーのふたを取って遊んでいるのを発見したが、その中にあるはずのボタン電池が見当たらなかった。腹部レントゲンで胃にボタン電池があることを確認したため、マグネットカテーテルで摘出してもらった。(1歳 男児)

### 事例②

あるはずのボタン電池が見当たらず、医者に行って胃の中にあるのが分かった。すぐに胃洗浄して取り出してもらい、1日入院した。(1歳 女児)



- ボタン電池を誤飲すると、放電で起こる化学やけどにより、「消化管に穴が開く」「潰瘍ができる」などの重大な事故につながる場合があります。誤飲した場合にはすぐに医師の診断を受けましょう。
- ボタン電池は、リモコン、キッチンタイマー、体温計など家庭内にある様々な商品に使用されています。なかには、工具を使用しなくても電池を取り出せるものもあり、誤飲の恐れがありますので、絶対に乳幼児の手の届かないところに保管してください。

## 歩き始めの時期、やけどに注意

### 事例①

魚焼きグリルのガラス面に触って左手の人差し指から小指までをやけどした。

グリルは火を消した後だったが、余熱が残っていた。(1歳 女児)

### 事例②

グリルで魚を焼いているとき、子どもがつかまり立ちして、グリルの側面に手をついてしまった。手が届くとは思っていなかった。

(10か月 男児)



- こんろのグリルで子どもがやけどを負ったという事故が、1歳前後の子どもに集中して起きています。歩き始めのこの時期は、行動範囲が広がり、身長とほぼ同じ高さにあるグリル窓へ容易に手が届くようになるので注意しましょう。グリル窓は、使用中はもちろん使用後もしばらくは高温です。
- 子どもは大人よりも皮膚が薄いため、深いやけどになりやすく、注意が必要です。やけどを負った場合は、すぐに冷水で冷却しましょう。水疱があれば可能な限り破らないようにし、冷却後はガーゼを当てて医療機関を受診しましょう。

## 洗濯用パック型液体洗剤の事故に注意

### 事例①

パック型液体洗剤を子どもが握ったら破裂し、洗剤が目の中に入った。目の表面が覆われたので急いで水で洗い流し、治療を受けた。(3歳 女児)

### 事例②

高さ1メートルくらいの棚に保管していたパック型液体洗剤を、子どもが箱から一つ取り出して遊んでいたところ飲みこんでしまった。母親が指を突っ込んで吐かせ、牛乳を飲ませた後に病院を受診。(1歳 男児)



- 洗濯用パック型液体洗剤のフィルムは水に溶けやすく、乳幼児が握ったりかんだりしているうちにフィルムが破れてしまいます。口や目に入ったという事故情報が3歳以下の乳幼児を中心に寄せられています。
- 洗剤は子どもの手の届かないところに保管します。使用後は必ずふたを閉めて保管することも大切です。
- ◆対処方法◆
  - ・飲んでしまった場合・・・口をすすがせ、無理に吐かせず、水または牛乳を少量飲ませる。
  - ・目に入ってしまった場合・・・こすらずに、すぐに水で10分以上洗い流す。
  - ・皮膚について場合・・・すぐに大量の流水で洗う。付着した衣服は脱ぐ。

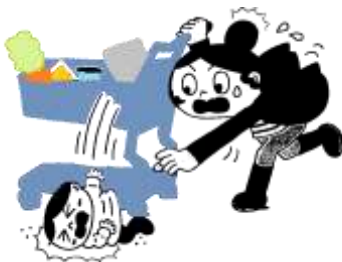
## ショッピングカートからの転落に注意！

### 事例①

カートに乗っていたところ、転倒し後頭部を打撲した。すぐに泣き、意識もあったが、吐き気が続いたため受診しCT検査を受けたところ、後頭部に急性硬膜外血腫があり、別の病院へ救急搬送となった。(1歳 女児)

### 事例②

カートに立って乗っていた際、目を離した際にカートごと転倒し、頭部を打撲。わきの下に入れた手をもち上げると、激しく泣いたため、受診したところ上腕を骨折していた。(11か月 男児)



- カートからの転落は特に1歳から3歳児の事故が全体の7割以上を占め、頭部の損傷が目立ち、中には重症事例も見られます。
- 子どもを幼児用座席に乗せているときには、目を離さず、子どもが立ち上がらないように注意し、ベルト等があればしっかり装着しましょう。
- 幼児用座席のないショッピングカートに子どもを乗せてはいけません。注意表示をよく確認しましょう。